

## 【実施体制】

本事業は、総長の強いリーダーシップの下、男女共同参画担当理事、男女共同参画推進専門委員会、男女共同参画センター、各部署の男女共同参画委員会及び総務部職員課が連携して推進する。とりわけ男女共同参画センターが中心的に活動する。男女共同参画センターは、これまで本学の男女共同参画推進の中心となっていた男女共同参画室を、平成29年7月1日に改組したものであり、1) 男女共同参画の推進、2) ジェンダー研究教育、3) 男女共同参画を通じた社会貢献を3つの主要な柱とする。

## 【特長】

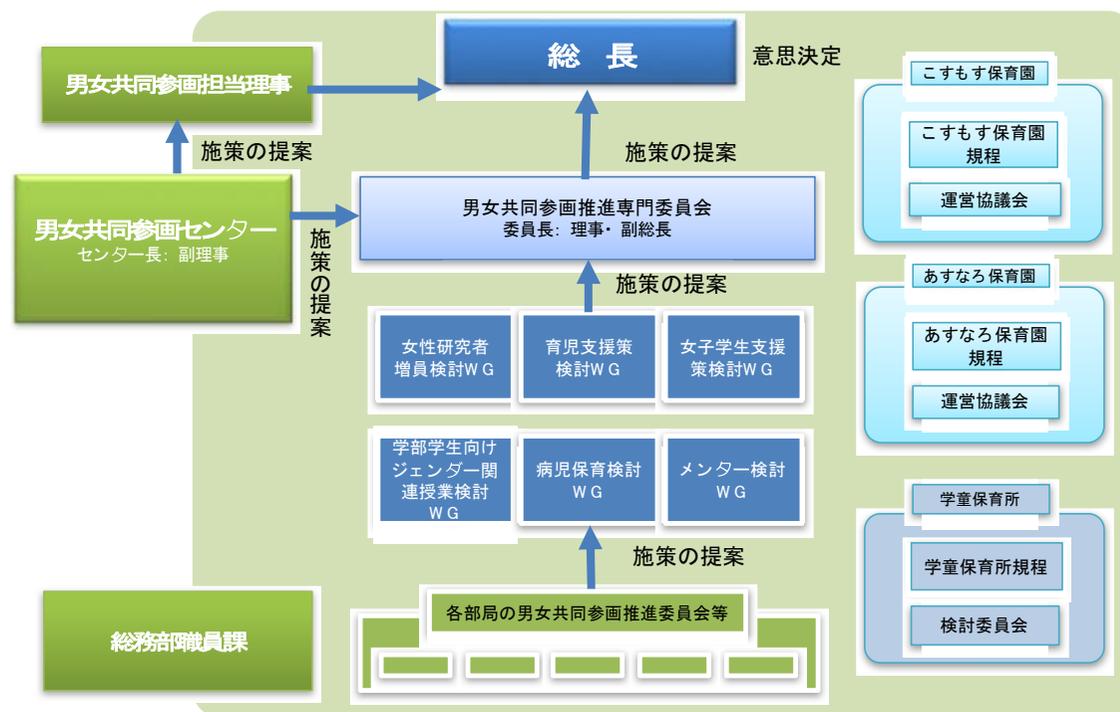
1. 下記の目標達成に向けて効果的に取り組むために、本事業で支出不可能な部局へのインセンティブ施策実施のための経費として、新たに創設した「ジェンダー平等支援基金」による自己資金から支出する。

## 【取組概要(目標)】

- 女性教員比率・女性教員上位職比率の増大
  - 女性教員採用加速インセンティブ
  - 女性教員上位職登用インセンティブ
  - 女性研究者トップリーダー顕彰
  - 女性研究者リーダーシップ・プログラム
- ワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の改善
  - 研究支援院制度
  - 介護相談会
  - ワーク・ライフ・バランス向上のためのアンケート調査の実施
- 女性研究者の研究向上
  - 英語プレゼンテーション研修
  - 英語論文執筆セミナー
  - 英語論文校閲助成
- ジェンダー平等推進のための拠点設立および学内の意識改革
  - 国内外のジェンダー平等推進拠点を旨とした男女共同参画センターの設置
  - ジェンダー平等ベスト・プラクティス賞

## 【体制の概要】

### 男女共同参画推進体制 組織図



## 【支援内容】

- ・女性教員採用加速インセンティブ：女性教員比率目標を達成及び新規女性教員を採用した部局に奨励金（自己資金）を付与する。
- ・女性教員上位職登用インセンティブ：女性教員を役員や管理職に登用したり、教授に昇進させた部局に奨励金（自己資金）を付与する。
- ・女性研究者トップリーダー顕彰：毎年5名程度を「特に優秀な女性研究者」として顕彰し、研究費の付与およびトップリーダー養成を目的としたセミナー等への参加費を支援する。
- ・女性研究者リーダーシップ・プログラム：上記の連携型事業で行った同プログラムを、本事業でも継続して行う。同プログラムは、女性研究者が、大学の研究・教育・組織運営に主体的に関わり、意思決定を行うため、大学の上位職に必要な情報・資質・スキルについての研修を通年で開催するものである。研修内容としては、外部講師によるリーダーシップ研修、本学のトップリーダーによる研修などを併せて年に3～4回の研修を開催する。プログラムの最後に参加者のレポートを報告書とし、成果の共有を図る。また、プログラム修了者には修了証を授与する。

## 【広報関係】

- ・男女共同参画センターウェブサイトを通じた活動紹介

## 【お問合せ】

機関名：国立大学法人名古屋大学

所在地：愛知県名古屋市千種区不老町

連絡先：kyodo-sankaku@adm.nagoya-u.ac.jp

HP： <http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/>